

3年連続50兆円割る

建設投資見通し

78年以来の低水準

国土交通省が24日に公表した2009年度の建設投資見

通しによると、総額（名目ベ

る）は前年度並みの47兆2

200億円と

なり、3年連

続で50兆円を

割り、197

8年以來の低

水準となる見

通しだ。この

うち、政府建

設投資は、09

年度補正予算

が5月に成立

したことから

前年度比14・

1%増の19兆

8400億円

となった。一

方、企業の設

備投資や雇用

情勢・所得環

境で厳しい状

況が続くと予想されることか

ら、民間投資は8・2%減の

27兆3800億円と3年連続

のマイナスとなる見通しだ。

09年度の建設投資は、建築

投資が1・1%増の27兆76

00億円、土木投資が1・6

%減の19兆4600億円。96

年に約83兆円あった建設投資

は減少傾向が続く、09年度は

前年度と同水準になる見込み

だ。08年度から増加に転じて

いる国内総生産（GDP）に

占める比率は、9・8%とな

ると見通す。

政府建設投資のうち、建築

投資は102・0%増の3兆

9600億円、うち住宅投

資が5000億円（前年度比

3・8%減）、非住宅建築投

資が3兆4600億円（14

0・3%増）を見込む。

土木を含む民間非住宅投資

は、厳しい景況が続く、

企業の設備投資も難しい状況

が見込まれることから、13・7

%減の12兆0100億円、

3年連続の減少とともに78年

以来の低水準となる見通し

だ。

新設住宅着工戸数は、住宅

ローン減税などの効果が期待

できるものの雇用情勢や所得

環境の厳しさが続くため、08

年度（103万9000戸）

より減少すると予測する。

土木を含む民間非住宅投資

は、厳しい景況が続く、

企業の設備投資も難しい状況

が見込まれることから、13・7

%減の12兆0100億円、

3年連続の減少とともに78年

以来の低水準となる見通し

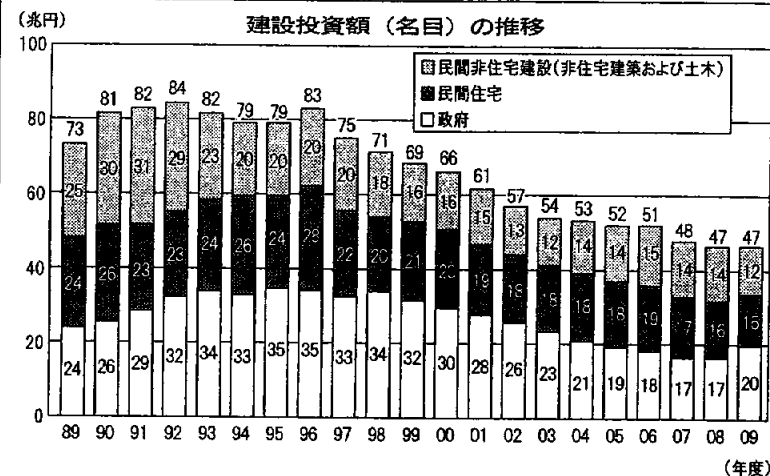
だ。

新設住宅着工戸数は、住宅

ローン減税などの効果が期待

できるものの雇用情勢や所得

環境の厳しさが続くため、08



況が続くと予想されることか

ら、民間投資は8・2%減の

27兆3800億円と3年連続

のマイナスとなる見通しだ。

09年度の建設投資は、建築

土木投資は、2・9%増の

15兆8800億円、うち公

共事業が14兆2100億円

（4・0%増）、公共事業以

外が1兆6700億円（5・

6%減）になると見通して

いる。

一方、民間住宅投資は3・5

%減の15兆3700億円、

3年連続の減少。85年以來の

低水準となる見込み。また、

これに政府住宅投資を合わせ

た09年度の住宅投資全体で

は、3・5%減の15兆8700

0億円を見込んでいる。

新設住宅着工戸数は、住宅

ローン減税などの効果が期待

できるものの雇用情勢や所得

環境の厳しさが続くため、08

年度（103万9000戸）

より減少すると予測する。

土木を含む民間非住宅投資

は、厳しい景況が続く、

企業の設備投資も難しい状況

が見込まれることから、13・7

%減の12兆0100億円、

3年連続の減少とともに78年

以来の低水準となる見通し

だ。